



発足から37年！ 菅布禰太鼓保存会

このほど平田村の伝統芸能の1つ、菅布禰太鼓保存会の定期演奏会が行われました。

外は冷たい風が吹く土曜の午後でしたが、会場の農業構造改善センターは熱気で盛り上がりしていました。そこで、発足当時と今後についての話をお聞きしました。

Q そもそも発足のきっかけは？また当時の稽古の様子は？

A 上蓬田子ども会で県北方面に行った時、霊山太鼓を観て「オラげの方にもこういう太鼓、あったらいいなあ～」と当時の役員さん達を中心に保存会を結成。太鼓を購入するために寄付集め、子ども達を中心に叩き手の募集、稽古場所の確保、稽古に使う古タイヤ集め…。そして、指導者（日本太鼓大角会）の要請など無我夢中でした。稽古は、古タイヤで基本のリズムや曲を覚えることに徹した。

Q 出来上がってきた太鼓の音をきいた時の感想は？

A 初めて聴く本物の太鼓の音。おなかの底にズシンと響き、鳥肌が立ったのを鮮明に覚えています。基礎を徹底的に学んできた子ども達の演奏は感動そのものでした。

Q ところで「め組」ができた経緯は？

A 現村長の澤村さんが「女性だけの打ち手」をつくろう！と声をかけてくれたのが始まり。1999年12月に顔合わせ。翌年7月の「ふくしま未来博」で叩くことを目標に稽古が始まりました。基本のリズム打ちはもちろん、バチの握り方、立ち方、声の出し方など基本を徹底的に教えられました。当時はまだ40代。夢中で稽古に励み、日々上手になっていくことが楽しくて嬉しかった。大人になっても夢中になれることってあるんだと実感。

Q 菅布禰太鼓保存会の今後は？

A 近年は、子ども達の入会者が少なく寂しいです。小学生のみなさん！一緒に太鼓を叩いてみませんか？同時に、40代で始めた「め組」のメンバーももはや70代になろうとして、これまた存続の危機！なにか夢中になれるものが欲しい！と思うみなさん、まずは体験を！お待ちしております。



稽古日／毎週金曜日・農業構造改善センター・19時～21時まで

次回6月4日(水) 議会定例会開催予定

役場1階ロビーと2階会議室でも映像を中継しています。議会は村の予算や身近な問題について話し合う大切な会議です。あなたも議会を傍聴してみませんか？

●午前10時から 6月4日(水)：一般質問
6月10日(火)：審議採決

※日程の詳細については村ホームページをご覧ください。
※常任委員会も傍聴することができます。
(事前に **申し込み及び委員長の許可** が必要です。)

議会活動に対するご意見 お寄せください！！

【お問い合わせ先】平田村議会事務局

〒963-8292 平田村大字永田字切田116

TEL 55-3558 FAX 57-5561

E-mail: gikai@vill.hirata.fukushima.jp

(村のホームページのお問い合わせフォームからでも送ることができます。)

※お寄せいただきましたご意見は、議会だよりで紹介させていただきます場合もあります。

委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報特別委員会
荒川	吉田	遠藤	高橋	関根	
川田	田喜	藤正	橋七	根重	
英義	喜尚	正彦	七重	猛	
義					

戦後80年の今思うこと
私は戦後7年経過の昭和27年生まれ、私の幼少時代は電気、ガスもなく、照明はランプかロウソク、洗濯機もなく同じ服を何日も着ていました。当時は小学生で子守や家事、農作業の手伝いで学校を休む事が当たり前のようであり、今では考えられないような時代でした。日本も戦後、高度経済成長時代を迎え、お金さえあれば何でも手に入るような時代になりました。

しかし世界各地で戦争が続く、多数の犠牲者が出ている事を連日の報道等で知り、一日も早い終戦を願い、今の平和な日本には二度と悲惨な戦争を繰り返さないよう願いたいと思います。

【荒川 英義】

編集後記